

ドクターカー活動事例 ① 一般住居への出場

平成 29 年 6 月〇日 81 歳男性

主訴：意識障害・左上下肢麻痺

現病歴：普段は決まった時間に起床するはずが、起きてこないため家族が心配になり様子を見に行くと、布団上で横たわり呼びかけに反応しないため 119 番通報

活動概要

- 8:30 横浜市消防局司令センターよりドクターカー出動要請
- 8:35 ドクターカー出場 医師 1 名・看護師 1 名・院内救急救命士 1 名
- 8:36 現場到着〔救急隊未到着〕
居室で患者接触、初期評価・バイタルサイン測定実施
院内救急救命士により医療機関選定・調整実施
〔本案件は脳血管疾患疑いにて、横浜医療センター脳神経外科での受入れを調整〕
- 8:41 救急隊現場到着
救急隊と情報を共有、横浜医療センターでの受け入れ態勢が整った事を伝達
救急車内収容
- 8:54 医師・看護師同乗のもと横浜医療センターへ搬送を開始

ドクターカースタッフ活動

- 先着隊として傷病者の初期評価の実施
- 医師から家族に対する患者状態の説明
- 受け入れ医療機関の調整・交渉
- 患者搬送中の患者管理

要点

中枢神経疾患に対して、早期の治療が実施できた。
救急隊到着までに受け入れ医療機関調整が完了した。
救急要請場所によってはドクターカーの先着が可能である。